

2015年10月7日

報道関係各位

公益財団法人 笹川スポーツ財団

笹川スポーツ財団 スペシャルサイト『スポーツ歴史の検証』

第40回 河合 純一 氏

(全盲の鉄人-パラリンピック水泳競技メダリスト、金を含む日本選手最多21のメダルを獲得)

「スポーツ・フォー・エブリワン」を推進する笹川スポーツ財団(所在地:東京都港区赤坂 理事長:小野清子 以下:SSF)は、日本のスポーツの歴史を築かれてきた方々にお話を伺い、スポーツの価値や意義を検証、あるべきスポーツの未来について考えるスペシャルサイト「スポーツ歴史の検証」を連載しております。本年度は、パラリンピアンや、ご自身の活動をとおして障害者スポーツをけん引してこられた方にフォーカスしており、今回は河合純一さんにご登場いただきます。

河合さんは両目の視力を失うも、水泳競技で1992年バルセロナパラリンピックに出場したことを皮切りに、2012年ロンドン大会まで6大会連続出場し、金メダルを含む合計21のメダルを獲得。

「夢追いかけて」をモットーに、講演活動なども行い、障害者スポーツの振興に貢献されています。インタビューには、多くのスポーツの名場面に立ち会ってこられた山本浩氏をお迎えし、障害者スポーツおよび、障害者を取り巻く日本社会のあるべき姿などについてお話を伺いました。SSFウェブサイトでの公開詳細は以下のとおりです。ぜひともご覧ください。

『最前線、壁うちやぶるスイマー』

河合 純一 氏

【公開日時】2015年10月7日(水)10:00 一斉公開

【URL】<http://www.ssf.or.jp/history/>

笹川スポーツ財団 歴史の検証 で検索ください

【主な内容】大舞台で受けたショックがその後の活動の原点に/大学進学、出会いの先でつかんだアトランタの金/故郷・舞阪で中学教師になる/日本のスポーツ政策の現状、今後の展望 など

<プロフィール>

河合 純一(かわい じゅんいち)氏

1975年静岡県出身。生まれつき左目の視力はなく、15歳で右目の視力も失う。小学生の時に水泳を始め17歳の時に水泳競技で1992年バルセロナパラリンピックに出場して、銀・銅メダルを獲得。以降、2012年ロンドン大会まで6大会連続出場し、1996年アトランタ大会・2000年シドニー大会・2004年アテネ大会での金メダル合計5個を含む、全21個のメダルを獲得する(メダル獲得数は日本人としては最多)。現在は、日本パラリンピアンズ協会会長をはじめ、日本身体障がい者水泳連盟会長など多くの要職を務めている。

山本 浩(やまもと ひろし)氏

1953年生まれ。スポーツ評論家。NHK在職中はエグゼクティブアナウンサー、解説委員(スポーツ・体育分野専門)として活動。現在は法政大学スポーツ健康学部教授を務める。

<スポーツ歴史の検証>概要

【企画制作】公益財団法人 笹川スポーツ財団

【後援】文部科学省、東京都、公益財団法人 日本体育協会、公益財団法人 日本オリンピック委員会ほか

【特別協力】株式会社アシックス

この件に関するお問合せ先

笹川スポーツ財団 経営企画グループ:古坂(ふるさか)

TEL:03-5545-3301 info@ssf.or.jp